

<p>【キャッチフレーズ】</p>  <p>笑顔・花・命</p>	<p>奄美市立大川小・中学校</p> <p>学校だより大川</p>	<p>【校訓】</p> <p>勉学・協力・根性</p>  <p>令和元年 12 月 23 日発行</p>
---	-----------------------------------	---



「自己実現＝進学」だった頃

校長 前田 浩之

「密航・命がけの進学」という本があります。奄美群島が米軍の統治下におかれた時代、密航という命の危険を冒してまで本土に渡り、自己実現のために進学した奄美の先人たちの手記を集めた本です。（八六会の奥山恒満さんの手記も掲載されています。）

徳之島の伊仙町、妻の実家に帰省したときにこの本はありました。大阪で弁護士をしている、義父のいところから贈られたきたもので、御自身もこの本に寄稿しています。つまり密航の危険を冒して進学し、弁護士という夢を成し遂げた先人の一人です。奇しくも伊仙町は、奄美復帰運動の先頭に立った「奄美のガンジー」、泉芳朗先生の出身地でもあります。



その手記を読み終えた後、義母と話をし、義母も同じく密航し、鹿児島の子女子高校に進学した一人であったことをその時に初めて知りました。戦時中から戦後まで、当時の様子を事細かに話してくれましたが、食べるものにも不足する当時、進学にかけた願いは並々ならぬものだったと感じさせられました。

私たちの子どもの頃、母親たちは子どもたちの進学のため、家で機（はた）を一生懸命に織っていました。忙しくて手の込んだ食事は作ってもらえず、インスタントラーメンをよく食べたものです。漫画に出てくるステーキや寿司などにあこがれ、「おそ松くん」に出てくるおでんも実においしそうに見えました。今から思えば不便な世の中でしたが、確実に成長していく日本の未来には夢があふれ、進学さえすれば安定した職業に就けることが分かっていたし、あこがれのステーキや寿司もそのうち食べられるという確信がありました。

時代は変わり、今の子どもたちはものがあふれた中に生きています。好きなときに好きなものが食べられ、スマホやゲームに夢中になりやるべき事を忘れてしまう。ぜいたくになれてしまっているというよりは、ぜいたくするのが当たり前になってしまっています。満足感や人の成長を鈍らせるのでしょうか、日本の若者の精神的成長が遅れているという研究結果もあります。子どもたちにいかに「夢」を持たせ、夢に向かって努力することがどれだけ価値のあることなのかを分からせることが、私たち大人の最大の課題だと思います。

12月25日は奄美群島が日本に復帰した記念の日。本土に渡るのに密航の必要がなくなった日です。年が明けると高校入試がスタートします。密航してまで進学に人生をかけた、先人の思いを伝えたいと思います。

## 11月後半～子どもたちの様子

### 税に関する絵はがきコンクール表彰

法人会から作品が掲載されたカレンダーもいただきました。



### 小学校：持久走大会

練習の成果を発揮！



### 中学校：駅伝大会

今年は保護者チームも参加しました。



### 中学校：人権週間の取組

各学年で人権標語を作成しました。

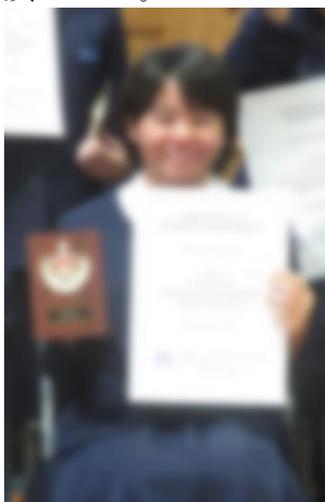


### 12月25日は奄美群島日本復帰記念の日

1945年から8年間、奄美群島は沖縄と同じく米軍の信託統治下に置かれました。泉芳朗先生をはじめとする先人たちの運動で日本復帰を勝ち取ったのが1953年12月25日。アメリカからのクリスマスプレゼントだったのです。

### 奄美市英語暗唱・弁論大会

中3の岸田結菜さん（英語暗唱の部）奄美市代表となる優秀賞を受賞しました。



12月後半～1月 主な行事予定	
12/25(水)	日本復帰記念の集い（名瀬小学校）
1/3(金)	奄美市成人式
1/8(水)	3学期始業式
1/10(金)	(小) 授業参観・学級PTA スクールカウンセラー来校
1/11(土)	土曜授業（シマ唄・シマグチ学習発表会）
1/12(日)	奄美市地区対抗駅伝大会
1/15(水)	鹿児島学習定着度調査（小5 中1 中2） ～16日まで
1/18(土)	奄美市PTA連絡協議会理事会 ゆらおう会